

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（山口県立大学）

看護栄養学部 栄養学科

2019年度：合計96単位（全学教育25単位）（他学部等共通4単位）

科目名	単位数	授業内容
キャンパスライフ入門	2	学習面・生活面に係る課題に対するグループワーク等を通じて、自律した生活者としてのスキルを身に付けるため、学外から講師を招聘し、授業を展開する。 第2回目：保護観察所に勤務する講師が、カルトのリスクについて講義を行う。 第14回目：警察署に勤務する講師が、様々な危険から身を守るための方略を伝授する。 第15回目：消費生活センターに勤務する講師が、消費者トラブルについて講義を行う。
宗教学	2	住職経験のある教員が、宗教学の知見を踏まえ、宗教に関する基本的な知識を講義し、各自が属する社会の宗教文化や異文化の宗教の理解を促す授業を行う。
生命と倫理	2	第3・4回目：救急救命医経験のある教員が、救急医療・再生医療・臓器移植について講義を行う。 第12～14回目：助産師経験のある教員が、出生前診断・周産期医療現場について講義を行う。 第15回目：外科医経験のある教員が、最新医療技術について講義を行う。
音楽	1	TV番組や映画などで劇伴音楽を手がける作曲家で、自治体の芸術顧問を務める教員が、創作を中心とする授業を行う。
美術	1	グラフィックデザイナーとして印刷会社に勤務経験のある教員が、作品制作の指導を行う。
茶道	1	表千家同門会の学校茶道指導者である講師が、茶道の基本的な作法を修得することを目標とする授業を行う。
華道	1	華道専正池坊教授及びロイヤルフラワーアレンジメント教授の資格を持つ講師が、生花、自然花、自由花の実技とともにニーズにあったフラワーアレンジメントも取り入れる等華道の様々な技法の修得を目標とする授業を行う。
陶芸	1	日本伝統工芸展に複数回入選歴のある萩焼作家である教員が、作陶の指導を行う。
やまぐちの歴史と文化	2	第8・9回目：市文化財保護課に勤務する講師を招聘し、地域の歴史と考古学について講義する。 第10・11回目：県立美術館に勤務する講師を招聘し、山口で活動した芸術家である雪舟と雲谷派について、美術史的価値の観点から講義する。 第12回目：中原中也記念館館長を招聘し、山口市出身の詩人である中原中也の活動について講義する。
社会生活論	2	消費生活センターに勤務経験のある教員が、今日の社会生活と消費生活を取り巻く諸問題について講義を行う。
地域共生演習	2	学外で地域の人々とともに地域課題の解決に向け、様々な地域活動を行うことにより、地域で働く意味や将来の職業選択に生かせる実践的な授業を行う。
地域学	2	交通不便地域におけるコミュニティタクシー乗車と乗客に対する聞き取り調査から、地域課題の解決や地域活性化に向けて主体的に取り組もうとする意欲を育てる授業をボランティア活動を通じ、ボランティア体験で得た学びをもとに地域社会に貢献する意欲と態度を身につける授業を行う。
キャリアデザイン	2	卒業後の社会的・職業的自立に向けてキャリアデザインの重要性を理解し、自分の職業・生きがいといった将来設計について考える授業を行う。
インターンシップ	2	主に県内の事業所においてインターンシップを行い、地域で働く意味を知るとともに、自分の専攻分野や将来の職業選択に生かせる実践的な就業体験を行う。
ヒューマンケア入門	2	看護学科、栄養学科の実務経験を有する教員が、人間理解、ケアの理解、ヒューマンケアの段階を追って講義、演習を行う。
ヒューマンケアチームアプローチ演習	2	社会福祉・看護・栄養における各分野で実務経験を有する複数の教員が、チームで行うケアプラン作成の演習指導を行う。
管理栄養士基礎演習	1	管理栄養士養成の導入科目。学内での調べ学習の後、現職の管理栄養士が勤務する医療機関等に出向き、将来の職業選択に生かす実践的な就業体験を行う。
保健医療福祉システム論（栄養）	2	福祉事務所等で障害者・児童福祉、介護保険に従事した経験を持つ講師が、自らの実務経験を基に社会保障・社会福祉を中心に講義を行う。
人体の構造と機能実験	1	医師である教員が、臨床経験を活かし、病理学実習、生理学実習など臨床に関係する内容を盛り込みながら授業を行う。
基礎病態学	2	薬剤師経験のある教員が、生体防御や細菌の薬剤耐性獲得機構について講義を行う。
臨床医学入門	2	医師である教員が、臨床経験を活かし、臨床医学に関係する内容を盛り込みながら授業を行う。
臨床医学入門実習	1	医師である教員が、臨床経験を活かし、臨床における実際の症例を盛り込みながら実習を行う。
臨床病態学	2	医師である教員が、臨床経験を活かし、臨床病態に関係する内容を盛り込みながら授業を行う。
食品科学	2	技術系職員として公立研究所に勤務し、食品企業からの技術相談を担当した経験のある教員が、加工食品の技術的な課題に関する話を盛り込みながら授業を行う。
食品科学実験	1	技術系職員として公立研究所に勤務し、食品企業からの技術相談を担当した経験のある教員が、加工食品の技術的な課題に関する話を盛り込みながら授業を行う。
食品衛生学	2	薬剤師経験のある教員が、食品衛生業務に係る組織や関連法について講義する。
食品衛生学実験	1	薬剤師経験のある教員が、食中毒細菌の分離同定に関する実験を行う。

科目名	単位数	授業内容
応用栄養学	2	管理栄養士として介護老人福祉施設に勤務した経験を持つ教員が、介護保険施設での実務経験を基に、栄養ケアマネジメントについて講義を行う。
栄養アセスメント実習	1	管理栄養士として介護老人福祉施設に勤務した建研を持つ教員が、介護保険施設での実務経験を基に、栄養ケアマネジメントについて演習を行う。
ライフステージ栄養学Ⅰ	2	管理栄養士として社会福祉施設並びに介護老人福祉施設に勤務した経験を持つ教員が、実務経験を基に、「高齢期の身体特性と栄養」について講義を行う。
ライフステージ栄養学Ⅱ	2	管理栄養士として社会福祉施設並びに介護老人福祉施設に勤務した経験を持つ教員が、介護保険施設での実務経験を基に、「高齢者の食事摂取基準」について講義・事例検討を行う。
栄養教育論	2	県保健所の管理栄養士の実務経験を持つ教員が、自らの経験を基に、栄養教育現場における活用を想起させながら行動科学理論の理解に導く授業を行う。
栄養教育論演習	2	県保健所の管理栄養士の実務経験を持つ教員が、自らの経験を基に、一次、二次、三次予防の栄養教育計画が作成できるよう現場を想定した演習を行う。
栄養教育論実習	1	県保健所の管理栄養士の実務経験を持つ教員が、自らの経験を基に、一次、二次、三次予防の栄養教育ができるよう現場を想定した実習を行う。
栄養カウンセリング論	2	栄養教育論をはじめ、他の専門科目で学習した知識や技能を栄養カウンセリングに活用できるよう現場を想定した体験型の演習を行う。
臨床栄養学Ⅰ	2	医師である教員が、臨床経験を活かし、実臨床に関係する栄養学的内容を盛り込みながら授業を行う。
臨床栄養学実習Ⅰ	1	管理栄養士として大学病院に勤務した経験を持つ教員が、医療機関の実務経験をもとに栄養管理や栄養食事療法について実習を行う。
臨床栄養学Ⅱ	2	管理栄養士として大学病院に勤務した経験を持つ教員が、医療機関の実務経験をもとに栄養管理や栄養食事療法について講義を行う。
臨床栄養学実習Ⅱ	1	管理栄養士として大学病院に勤務した実務経験を持つ教員が、医療機関の実務経験をもとに栄養管理や栄養食事指導について実習を行う。
栄養ケアマネジメント論	2	医療・福祉分野に勤務する実務経験者らによる多職種連携の栄養ケアについて講義を行う。
栄養ケアマネジメント演習	2	医療・福祉分野に勤務する実務経験者らによる多職種連携の栄養ケアについて演習を行う。
栄養政策論	2	公衆衛生医師として勤務している講師を招聘し、健康づくりや食育に係る政策等について講義を行う。
給食経営管理論Ⅰ	2	管理栄養士として病院に勤務した経験を持つ教員が、医療機関の実務経験をもとに給食経営管理について講義を行う。
給食経営管理実習Ⅰ	1	管理栄養士として病院に勤務した経験を持つ教員が、医療機関の実務経験を基に特定給食施設を想定した給食経営管理について実習を行う。
給食経営管理論Ⅱ	2	管理栄養士として病院に勤務した経験を持つ教員が、医療機関の実務経験を基に給食経営管理について講義を行う。
給食経営管理実習Ⅱ	1	管理栄養士として病院に勤務した経験を持つ教員が、医療機関の実務経験を基に特定給食施設を想定した給食経営管理について実習を行う。
栄養管理総合演習	2	臨地実習における実践的体験学習をもとに総合演習を行う。
給食経営管理臨地実習（給食の運営を含む）	2	特定給食施設の現場において実習を行う。
臨床栄養学臨地実習	2	医療の現場において実習を行う。
公衆栄養学臨地実習	2	保健所および保健センターの現場において実習を行う。
食材のサイエンス	2	技術系職員として公立研究所に勤務し、食品企業からの技術相談を担当した経験のある教員が、加工食品の技術的な課題に関する話を盛り込みながら授業を行う。
食品加工学	2	技術系職員として公立研究所に勤務し、食品企業からの技術相談を担当した経験のある教員が、加工食品の技術的な課題に関する話を盛り込みながら授業を行う。
機器分析学	2	食品中の異物を分析するためには実際どのように分析すべきか実験を交えながら授業を行う。
機器分析学実験	1	食品中の異物を分析するためには実際どのように分析すべきか実験を交えながら授業を行う。
人間発達学（栄養）	1	医療・教育・福祉現場での心理臨床経験がある教員が、自らの経験に基づき、対象理解を基に実践的教育を行う。
臨床治療学	2	医師である教員が、臨床経験を活かし、臨床に関係する薬剤に関する内容を盛り込みながら授業を行う。